

令和2年8月5日

令和2年度水稻生育定期調査結果 No.6-2 (7月27日現在)

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 生産システム研究室・県北農業研究所 作物研究室
(生産基盤研究部)TEL:0197-68-4413、FAX:0197-71-1081(県北研究所)TEL:0195-47-1074、FAX0195-49-3011

※7月27日現在の稲体栄養・土壌窒素及び8月4日現在の生育ステージの調査結果報告
(生育調査結果等については、水稻生育定期調査結果 No.6 で報告済み)

1 地上部乾物重、稲体窒素、土壌窒素 (北上、7月27日現在)

農業研究センター(北上)では、地上部乾物重は平年並みから重く、稲体窒素濃度は平年を上回り、稲体窒素吸収量は平年より多くなっている。土壌中アンモニア態窒素濃度は、平年並みからやや下回っている。

2 生育ステージ (8月4日現在)

農業研究センター(北上)では、「あきたこまち」は8月4日に出穂盛期(平年+4日)、「銀河のしずく」は8月4日に出穂始期(平年+3日)、「ひとめぼれ」は7月29日に減数分裂期(平年+2日)にそれぞれ達した(平年+2日)。

県北研究所(軽米)の「いわてっこ」では、7月25日に減数分裂期(平年+3日)に達した。

表1 地上部乾物重、稲体窒素吸収量、土壌窒素量 (7月27日現在)

調査項目	単位	年次	農業研究センター (北上)		
			ひとめぼれ	あきたこまち	銀河のしずく
地上部 乾物重	(g/m ²)	本年	761	642	670
		平年	669	666	698
		平年比	114%	96%	96%
稲体窒素 濃度	(%)	本年	1.7	1.6	1.6
		平年	1.2	1.1	1.2
		平年差	0.5	0.5	0.4
稲体窒素 吸収量	(g/m ²)	本年	12.6	10.0	11.0
		平年	8.3	7.5	8.0
		平年比	151%	133%	136%
土壌中 アンモニア態窒素	(mg/100g 乾土)	本年	0.8	0.7	0.6
		平年	0.9	0.8	0.8
		平年差	-0.1	-0.1	-0.2

※「平年」は、農業研究センターは平成27～令和元年、県北農業研究所は平成25～27、30～令和元年の平均

※「いわてっこ」は、平成29年までは県北農業研究所、平成30年から県北農業研究所隣接の現地水田で供試

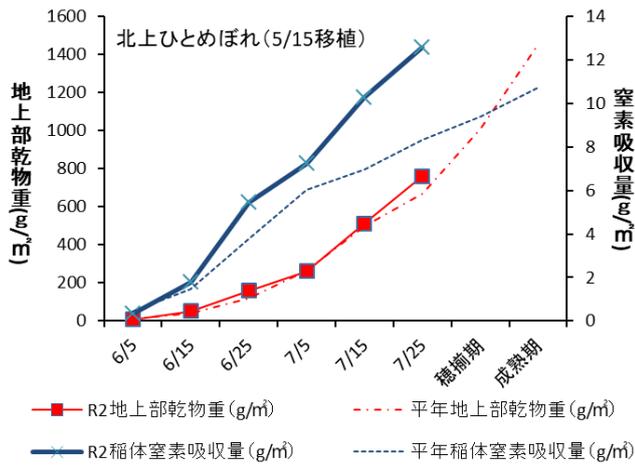


図1 地上部乾物重と稲体窒素吸収量の推移

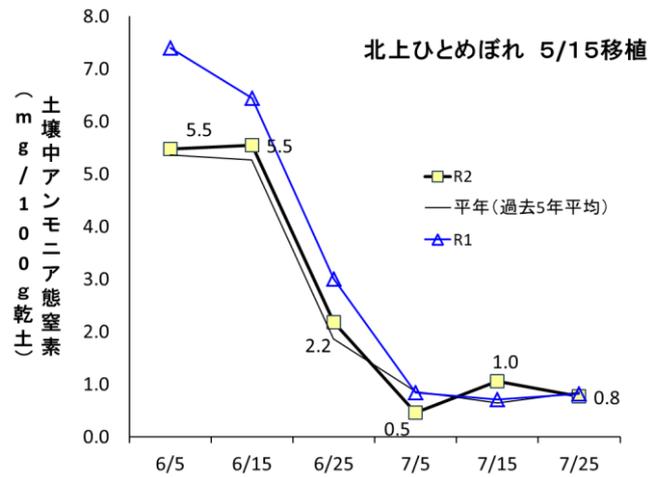


図2 土壌中窒素量の推移

注) R2 の値は前回 7/15 までの報告値に誤りがあったため、今回訂正している。

表2 生育ステージ (8月4日現在)

品種名	年次	穂首分化期	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期		
					始期	盛期	揃い
ひとめぼれ	R2	7/3	7/15	7/29	—	—	—
	平年	7/4	7/14	7/27	8/3	8/5	8/7
	参考	7/4	7/14	7/28	8/3	8/5	8/7
あきたこまち	R2	6/30	7/10	7/25	8/2	8/4	—
	平年	7/1	7/9	7/23	7/29	7/31	8/2
	参考	7/2	7/10	7/24	7/30	8/1	8/2
銀河のしずく	R2	6/30	7/9	7/26	8/4	—	—
	平年	7/2	7/10	7/24	8/1	8/2	8/4
いわてっこ	R2	6/30	7/9	7/25	—	—	—
	平年	7/1	7/9	7/22	8/2	8/4	8/6
	参考	7/2	7/10	7/24	8/3	8/5	8/7